

四国華僑華人連合会文化交流シリーズ講座特別講演会・懇親会

本日はご多忙の中、急なご案内にも関わりませず、こんなに多くの皆様に参加していただき、誠にありがとうございます。そして、先ほど貴重なお話をしてくださった鄭総領事、また、公務ご多忙の中、駆けつけてくださった浜田知事、そして各界の諸先輩方には、心より御礼申し上げます。このような貴重な時間を、皆さんと共有できますことに、感謝の気持ちでいっぱいです。私共、四国華僑華人連合会は、4年前に設立致しまして、以来、国籍を超えた相互理解、交流を深めるため、様々な活動を通して、我々の思いを、地域の皆さんに発信してまいりました。私も、在日歴18年、うち香川県では14年が過ぎ、これまでの人生の大半は、日本で暮らしていることとなります。当連合会でも、香川で生まれ還暦を過ぎる顧問の高さんをはじめ、理事や会員の中には、20年を超える「中国讚岐人」も多く在籍しており、香川県は、第2のふるさとといっても過言ではありません。

今年は、歴史上、最も重要な日中国交正常化に尽力された大平正芳元総理の生誕100年の年でもあります。大平元総理を生んだ香川県に暮らす私たちが、互いに良き友人として手を取り合い、未来を築いていければと、心から願っております。

今月1日、浜田知事が上海を訪れ、春秋航空の王さんと会談して、「上海⇄高松定期便の来春3月実現に向けて協力していくことを合意した」というビッグニュースがありました。ここ数ヶ月、日中関係を震撼させるニュースばかり目立つ中、こういう前向きで発展的なニュースを発信したのが、まず香川県であることに、とても嬉しく感じております。是非とも、私ども華僑華人の立場からも、実現に向けて、そして、継続的發展に向けて、精一杯協力させていただきたいと思っております。

日本のことわざに、「雨降って地固まる」という言葉があります。今の日中関係は、正に一時的な雨であります。しかし、これからは、より一層固まった良い関係を築いていくことを確信しております。これからも、当連合会一同、香川県、そして四国の為頑張って参りますので、末永くお付き合いいただき、ご指導賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、今回の急なお願いに、会場をご提供くださった「アリスイン高松」の逸見さんをはじめ、関係者の皆さまに、厚く御礼申し上げ、主催者としてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。 謝謝大家。

2010年11月5日

四国華僑華人連合会
会長 張 嘉樹